

RESULTS

the power to end poverty

プレスリリース

トップページ

日本リザルトについて

リザルトとは
組織概要

スタッフ紹介
年次報告書・決算書

リザルトの活動

プロジェクト
活動実績
イベントカレンダー

リザルトのスタイル

アドボカシーとは
アドボカシー・ワークショップ

リソースセンター

プレスリリース
要望書

作成資料
マンスリーレター
フォトライブラリー

サポートのお願い

寄付
入会
ボランティア
求人（職員/インターン）
サポーターの声

公式ブログ

資料請求

鶴住居町の水仙：震災にも津波にも負けなかった球根

岩手県釜石市鶴住居駅の周辺はかつて、東京への高速バスが毎日運行し、病院や銀行などがあり、町の中心地でした。そこにあったローソン鶴住居店の裏には古川貞治さんの自宅がありました。

古川さんのお母さんは震災で亡くなられ、一緒に暮らしていた伯母さんは今も行方不明のまま。そのほか、周辺地域での死亡者、行方不明者は数えきれないほどいます。

伯母さんが手入れをされていた日本庭園や畑、事業所や倉庫など、震災前の生活と思い出のすべてを失いました。残されていたものは土の中に埋もれた、いくつかの庭石と生き残っていた水仙。

古川さんの伯母さんが育てていた水仙は、津波にのみまれ、塩害にさらされ、砂に埋もれ、それでも力強く、生きていました。

古川さんは現在、鍼灸マッサージ師として施術ボランティア*をされ、同じく被災した方々への献身的な活動を続けています。

日本リザルトでは今、古川さんの伯母さんが育てていた水仙の球根を、大切に育ててくれる方を募集しています。

*古川さんは日本リザルトのお手伝いもして下さっています。

（以下、古川さんご自身から寄せられた体験記です。）

球根を採集した場所は、奇跡と悲劇の町・鶴住居の中心地で、採集者は鶴住居の奇跡の当事者であり、鶴住居の悲劇の遺族である。

採集地から10歩ほど歩いた場所では東京への高速バスが毎夜運行し、ローソンはたえず若者や買い物客でにぎわいをみせていた。

そこにあった家や小屋、倉庫等、生活を示すすべてのものが失われ、何も発見されなかった。

球根を育てていた者はいまだに行方不明のままである。

採集者の私は思う。生命をうばわれ、生活をうばわれ、財産をうばわれ、夢や希望、人生設計をうばわれ、思い出さえもうばわれ、それでも人は生きていかなければならないと。

記：古川貞治

水仙の球根を大切に育てて下さる方、下記の連絡先にご連絡ください。

日本リザルト

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-11-16 さいかち坂ビル403号室

電話: 03-5280-2888 FAX: 03-5280-2889

E-mail: dmatsukura@gmail.com

担当：松倉大樹

（写真）



球根採集地：鶴住居駅前、旧ローソン鶴住居店裏の自宅および庭、畑周辺





採集過程で土の中に砂が浸透しており、様々なものが土の中に埋まっていた。ほとんどの球根は痩せていた。海中から押し上げられた砂をまとい、球根はそれでも生きていた。津波をかぶった水仙は葉を出しても花を咲かせる力はなかったようだ。



古川さんの伯母さんが育てていた球根のうち、塩害にも津波にも負けずに葉を出したものを採集



伯母さんの日本庭園を形成していた庭石のほとんどが流出していたが、いくつか発見したものを集めた。



そこに一人一人の生活や人生があった事を証明するように残る土台。それさえも無くなればそこに町があった事さえも初めて来る人にはわからないだろう。



古川さんは現在も鍼灸マッサージ師としてボランティア活動をしている。



(左) 古川真治さん



生き残った水仙の球根は、大切に育てて下さる方がみつかるまで、日本リザルツ東京事務所で大切に保管しております。

[▲ トップへ戻る](#)